



香りと開発

HARUNA
2024.Oct

Profile

株式会社Selenophile CEO

Haruna Sema

Artist / Fragrance Designer

「わたしだけが知っているわたしの望む香り」をテーマに、オーガニック・野生種の精油、天然香料を使用して香りのart directionを行っています。

パーソナルな香りの診断やコスメの香り監修、ホテルや東京オリンピック2020等のイベントの空間演出を実施。

目には見えないけれど確実に身体と心に影響する香りの力を信じて、日々植物と向き合いながら活動中。



FragranceDesignerになった理由

大学を卒業後、8年間会社員を経験。休み返上や徹夜で仕事をすることも多く、心身ともに疲れ切っていました。

アロマを垂らしたものをデスク横において仕事をした際に、とても救われた経験があり、無意識に行っている日々の呼吸を通じて、香りは無意識に心と身体に力を与える存在であり、手軽に人を癒せるツールだと実感しました。そんな香りの力を信じてみんなが幸せになる仕事がしたいと思い香りについて専門的に学び独立をしました。



Performanc : The Tokyo 2020 Olympics

東京オリンピック2020のVIPが集まる空間の
香りの演出&ハンドサニタイザーの香りを担当

[香りのテーマ]
日本へようこそ！
おもてなしの気持ち
空間の抗菌・抗ウイルス



Performanc : 食 × 香り

山形県にある田んぼの上に建設された
ホテル“スイデンテラス”にて食事と
地元のワイナリーと香りの
コラボレーションイベントを
実施いたしました。

地元食材×ハーブ×ワインを香り軸で
皆さまにご提供し、トークショーも
合わせて開催いたしました。





Performanc :

酒 × 香り

石川県金沢で最も長い歴史を持つ酒蔵“福光屋”
伝統工芸の久谷焼の窯元である“錦山窯”との
コラボレーションイベントを開催。

石川県でとれる杉を蒸留し、木の色味から
インスピレーションを受けて作られた
この日限定の色鮮やかな久谷焼の器を使って
日本酒を香りで楽しむ、五感をフル活用した
時間を提供。





Performanc : モノづくり

企業が新しい商品を開発する際に、
プロの視点から香りのディレクションを担当。

商品のコンセプト・予算感に
合わせて香りをデザインし、
商品開発のサポートを
行っています。

主な商品

アロマスプレー

アロマディフューザー

化粧品

シャンプーなど





ドミニカ共和国での活動概要①

●FY2023

[視察調査]

2023年11月13日～28日の期間にて、ドミニカ共和国における香り市場の可能性を図るべく調査を実施。

[結果]

香り市場の可能性は大いにありと判断。

日系コミュニティで展開している

ハーブを活用し、ドミニカ共和国産の

精油生産の可能性を提示。

→✓ 自国でのアロマ産業における雇用機会の可能性

✓ 病院での空間演出展開

✓ 観光産業での展開

✓ 香りの教育 etc . .





ドミニカ共和国での活動概要②

2024 OCT 13 – 26

[OCT 14-16 香りの研修@ INFOTEP]

- ・ Day 1 :日系人が運営するコンスタンサでのハーブ園にて
蒸留用のハーブ材料収集





[OCT 14-16 香りの研修@ INFOTEP]

- ・ Day2 : INFOTEPにて
ユーカリの蒸留&香り作りのワークショップ

(蒸溜)
蒸留器の説明を行った後、
4kgのユーカリを2時間かけて行う

(香り作りのワークショップ)
香りの歴史
身体と心を与える影響の話
ブレンドのロジック等の講義の後
自分達でイメージした香りを作成





- ・ Day3 : INFOTEPにて
ローズマリーの蒸留 & 香り作りのワークショップ
証明書授与式

(蒸溜)
蒸留器の説明を行った後、
2kgのローズマリーを2時間かけて行う

(香り作りのワークショップ)
自分達でイメージした香りを作成

(証明書授与式)









ドミニカ共和国での活動概要③

[2024.Oct.21 SNS(保健サービス庁)及び産婦人科病院視察訪問]

・ 婦人科の皆さまに、香りの親和性について提言。

(日本の事例)

✓ 分娩室へアロマを導入し、出産時の妊婦さんの心のケア

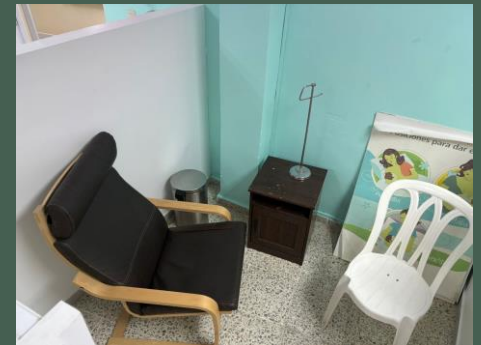
✓ 出産後のアフターフォローとして、香りを使用

(出産当時の香りを使用することで心のケアにも繋がる)

✓ 強いケミカルの消毒液の使用ではなく、

自然由来の抗菌・抗ウイルス由来のアロマを導入

(空間や洗剤など)



ドミニカ共和国での活動概要④

[2024.Oct.23 草木染ワークショップ]

天然のコットン・チャカバーナの草木染を実施。

→蒸留後の搾りガラからとれる液体や玉ねぎの皮・コーヒーの殻を煮詰めることで天然の染料に

※捨ててしまうものから、新しいものづくりへの循環が可能に



成果

- INFOTEPでの香りの蒸溜～香り作りの一連ワークショップは大変満足度の高いものとなった。
 - ✓ 香りに関する理解度が高まる
 - ✓ 農家さん達へのリスペクトが高まる
 - ✓ 普段交わることのない人々が集まることによって、交流が生まれた
 - ✓ 実際に蒸留器を購入し、自分達でビジネスを展開することを検討
 - ✓ 女性起業家たちは、チームで香りビジネスの協会立ち上げを検討
 - ✓ INFOTEPでの継続的な香りワークショップの開催を検討中
(最短で2025年2月開始予定)
 - ✓ ドミニカ共和国内メディア（TV、新聞、ラジオ）に多数出演
- 産婦人科医へのアロマの有効活用の提言に関しては、興味関心が高く、未来における可能性を強く感じた。

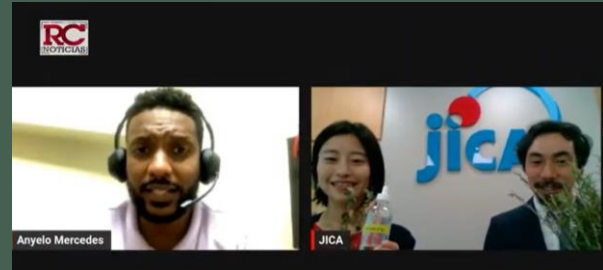
課題

●香りづくりにおける事

- ✓ 継続的な材料の提供ができるか
- ✓ 蒸留器等必要な機材・素材（エタノール、ボトル等）が手に入るか
- ✓ 必要な予算の確保
- ✓ 正しい知識の継承
- ✓ ビジネスモデルの構築
- ✓ スタッフのモチベーションの維持

ドミニカ共和国における フレグランス産業の可能性

- ドミニカ共和国国内にて、精油の生産がないことから
本ビジネスを着手することで、ドミニカ共和国国内初の
精油の生産となること
- 生産に関係する新しい雇用機会が生まれる
- 香りの素材となる植物の宝庫であること
- ケミカルな香りが多い市場の中、
植物由来のナチュラルな香りに対してとてもポジティブであること
- ワークショップを通じて、事業に前向きな人たちが多い事



ありがとうございました。